

## 【第3号議案】(報告事項)

### 平成24年度事業計画書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

一般社団法人への移行後の2年目として、前年度に引続き、当会の使命の再確認とそれに相応しい体制の確立を図る。すなわち、本年度は、健全な財政基盤の確立に向けて、経費の節減に取り組むとともに、前年度から実施中の維持会員拡大に努め、平成18年度から約20%減少している維持会員口数の回復を図る。また、前年度から実施を進めている規程類の見直し・整備を継続実施する。

#### [1]研究会、学術講演会等の開催(定款第4条第1号)

##### 1. 春秋大会の開催

###### 1) 第122回春期大会

会期	: 平成24年5月19日(土)、20日(日)
会場	: 九州大学
実行委員長	: 堀田善治(九州大学)
定時総会	: 平成24年5月19日(土)
研究発表講演	: 平成24年5月19日(土)、20日(日)
表彰式	: 平成24年5月19日(土)
会員懇親会	: 平成24年5月19日(土)(ホテルセントラーザ博多)
見学会	: 平成24年5月18日(金)
機器・カタログ展示	: 平成24年5月19日(土)、20日(日)

###### 2) 第123回秋期大会

会期	: 平成24年11月10日(土)、11日(日)
会場	: 千葉工業大学
実行委員長	: 本保元次郎(千葉工業大学)
研究発表講演	: 平成24年11月10日(土)、11日(日)
表彰式	: 平成24年11月10日(土)
会員懇親会	: 平成24年11月10日(土)(千葉工業大学)
機器・カタログ展示	: 平成24年11月10日(土)、11日(日)

##### 2. シンポジウム、セミナー等の開催

- ・軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」
- ・第89回シンポジウム「高品質高信頼性ダイカスト・鋳物の最新動向と未来」
- ・第90回シンポジウム「摩擦攪拌プロセスによる接合と表面改質」(仮題)

#### [2]国内外における研究協力・連携の推進(定款第4条第2号)

##### 1. 国際交流

###### (1) Asian Network on Light Metals (ANLM)

ICP(International Communication Program)ミーティングの開催地が一巡し、ICPの機能をさらに充実させるために活動を次のステージへ移すべき時期が来たと判断し、日本側でICPの役割を再考した結果、2012年にICPミーティングを主催する日本として、次の5項目を議題とする提案書を関係各地域(中国、韓国、台湾、オーストラリア)の代表へ昨年度末に送付した。

- ① ICPを改組してAsian Network on Light Metals(ANLM)と名称変更しさらに活動の質的向上を目指す。

- ② 参加者の経済的負担を最小限にとどめつつ、地域間交流の場としての機能をさらに充実させるために、ANLM ミーティングの開催地を固定化して、必要最少数の参加者により集中的な議論を行う。
- ③ アジアフォーラム(AFLM)の運営は ANLM ミーティングにて協議する。
- ④ ANLM ミーティングを公開フォーラムにし、地域代表による話題提供を基軸とした情報交換の場とする。
- ⑤ ANLM ホームページをプラットフォームにした情報交換の場も設け、常に最新情報を加盟地域が共有できるようにする。

(2)ANLM ミーティング開催

- ①開催日：2012年11月9日(金)(第123回軽金属学会秋期大会の前日)
- ②開催場所：千葉工業大学 津田沼校舎
- ③講演：依頼講演(各国の招待者による講演)+各国一般講演・・・計10件程度

(3) ANLM ホームページ開設

アジア地域の軽金属に関する産業と学術の相互交流を深め、加盟地域間の発展に資する交流の場とすることを目的に、軽金属(アルミニウム、マグネシウム、チタンなど)に関する研究者、開発者を対象として、英文ホームページを年度早期に開設する。開設時点では ANLM への移行は承認されていないため、まずは ICP からのスタートとする。

2. 産学官の連携

参与会を年2回程度開催し、産学官の密接な連携のもとに、軽金属の将来に対する意見交換を行い、特にユーザー側からの助言を得る。

3. 他学協会との連携

日本学術会議、材料連合協議会、材料戦略委員会、日本工学会等と連携を保つとともに、日本金属学会、日本鑄造工学会、日本塑性加工学会、日本材料学会、日本鉄鋼協会、日本機械学会など、他学協会との研究発表、シンポジウムの共催、協賛などの協力を積極的に行う。

[3]学会誌、学術図書等の刊行(定款第4条第3号)

1. 会誌「軽金属」の刊行

本年度はVol.62-No.4～12、Vol.63-No.1-3までの12冊を刊行する。Vol.62-No.11に「超微細粒がもたらす軽金属材料の新しい可能性」特集号を、また、共同刊行欧文誌Materials Transactions のVol.53, No.11 に「Crystallographic Orientation Distribution and Related Properties in Advanced Materials Ⅲ」特集号を刊行する。

2. 研究部会報告書の刊行

前年度に研究を終了した研究部会、または当年度で活動を終了する研究部会の成果報告書を刊行する。

[4]研究及び調査の実施(定款第4条第4号)

1. 研究部会

本年度は前年度から継続の7部会で研究事業を実施するとともに、1件の新規部会立ち上げを行う。

	研究部会名	課題
1	高機能押出加工技術研究部会	押出型材の表面欠陥の抑制など従来の押出加工技術の向上と、時代の要請に対応した機能的な押出加工技術の創成を行なう
2	アルミニウム圧延における生産性研究部会	アルミニウム板圧延の、特に生産性の向上について、意見交換・検討を行いながら、技術レベルの向上を図る。

3	新機能発現・化学プロセス部会	化学反応に関わるプロセスを取りあげ議論する。表面処理、腐食、精錬、リサイクル等の30年後を見据えた情報交換の場とする。
4	成形性評価シミュレーションに関する基盤技術開発部会	自動車部品等にアルミニウム合金を適用するためには成形加工技術の高度化が必要であり、成形性評価シミュレーションの基盤技術の確立のため、アルミニウム合金の成形性評価に必要な基礎データの整備と充実を図る。
5	アルミニウム合金圧延材の組織形成予測部会	アルミニウムの材料特性は合金成分と製造条件に左右される。昨今、材料組織形成シミュレーションを用いた特性予測が進展しており、材料データプラットフォームの構築で、我が国独自の組織形成予測技術を実現させる。
6	アルミニウム中の水素研究部会	アルミニウム合金中の水素は、材料の機械的特性や表面品質に影響を及ぼすため、基礎的に、水素ガス分析方法の高精度化と、機械的性質等に及ぼす水素ガス量の影響調査を行う。
7	アルミニウム溶解炉における複合酸化物の異常生成研究部会	アルミニウム溶解炉・保持炉に異常生成する複合酸化物(通称オバケ)を実機炉から採取・分析調査し、その生成機構解明を図るとともに、抑制に有効な知見(耐火物組成・構造や操業条件等)修得の一助とする。
8	加工と熱処理による優先方位制御研究部会	加工と熱処理による新しい集合組織制御技術の構築を目指して、実現可能な優先方位の組合せによる大幅な特性改善の可能性を見出す。

## 2. 大型研究のプロジェクト化

数年以内に実施できる公的な予算による大型プロジェクトを念頭に、軽金属学会で活動する研究者・技術者から研究計画を提案してもらい、提案された計画が実現可能かを研究委員会で議論を重ね、数件以内に絞ったうえ、研究組織を具体化させてプロジェクト化を図る。

## [5] 研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第4条第5号)

### 1. 研究・業績の表彰

①第15回軽金属学会賞、②第14回軽金属学会功労賞、③第10回軽金属功績賞、④平成24年度軽金属論文賞、⑤平成24年度軽金属論文新人賞、⑥第47回小山田記念賞、⑦第35回高橋記念賞、⑧第30回軽金属奨励賞、⑨第11回軽金属躍進賞、⑩第4回軽金属女性未来賞、⑪平成24年度軽金属希望の星賞の選考および表彰を行う。表彰式は、①～③を第122回春期大会の平成24年5月19日(土)、④～⑩を第123回秋期大会の平成24年11月10日(土)に行う。また、⑪については、平成25年2月末までに表彰楯を各大学へ送付し、卒業式・修了式など相応しい時期に表彰する。

### 2. 人材育成

各支部において、講演会・ポスター発表など、若手人材育成に関わる事業を実施する。

### 3. 若手の会、女性会員の会

春秋大会時に、若手の会、女性会員の会を開催する。昨年度の春秋大会での試行を経て本年度より、女性会員の会を中心に、春秋大会時の託児室設置を実施する。

## [6] その他、本学会の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第6号)

### 1. 支部活動

#### (1) 北海道支部

##### 1. 講演会(主催、協賛)(5回) 「北海道アルミニウム利用技術研究会」と合同開催

- ① アルミニウム鑄造品の高品質化技術に関する講演会(北海道苫小牧市)
- ② ダイカスト製品製造技術に関する見学会(静岡県静岡市)
- ③ アルミニウム素形材(押出形材)の利用技術に関する講演会(北海道苫小牧市)
- ④ ものづくり技術交流会 生産現場における改善事例報告会(北海道苫小牧市)
- ⑤ ものづくり技術交流会 生産現場における改善事例報告会(北海道苫小牧市)

2. 講演 招待講演 1 件(1.5h 程度) \* 講演者および内容は現在検討中  
アルミニウム関連研究 全国の大学、高専、公設試などによる
3. 支部理事会、支部評議員会(1 回)

#### (2)東北支部

1. 役員会(2 回)
2. 講演会(2 回)
3. 協賛事業(随時)

#### (3)関東支部

1. 支部運営委員会(4 回)
2. 支部総会(於 工学院大学)
3. 第 3 回若手研究者ポスター発表会および特別講演会(工学院大学)
4. 第 123 回秋期大会会(千葉工業大学)の実行援助
5. 工場見学(1 回)
6. 高橋記念賞推薦
7. 軽金属学会功労賞推薦
8. 軽金属希望の星賞受賞候補者の一次選考
9. 維持会員加入勧誘, 訪問活動(継続)

#### (4)北陸支部

1. 幹事会(定例 2 回)
2. 講演会(春・秋 2 回)
3. 幹事研修会(1 回)
4. 第 124 回大会実行委員会(2 回)
5. 協賛事業 随時 (5 件程度)
  - 日本金属学会・日本鉄鋼協会北陸信越支部 (7 月、12 月)
  - 富山大学材料科学国際シンポジウム(ICPMAT) (6 月、ノルウェー科学技術大学)
  - 日本ポーランド材料解析セミナー (9 月、ポーランド)
  - 富山大学材料研究会 (10 月、2 月)
  - (社)日本熱処理技術協会 中部支部 平成 24 年度 北陸セミナー「現場で役立つ熱処理・表面改質の基礎と応用」  
日 時: 平成 24 年 4 月 13 日(金) 9:30~17:00, 会 場: 石川県工業試験場

#### (5)東海支部

1. 会議関係
  - (1) 総会(1 回), 開催時期:平成 24 年 4 月 9 日
  - (2) 評議員会(1 回), 開催時期:平成 24 年 4 月 9 日
  - (3) 理事会(3 回), 開催時期:未定
2. 企画行事等
  - (1) 講演会(2 回)
    - 第 1 回講演会:平成 24 年 4 月 9 日
    - 第 2 回講演会:平成 24 年 12 月~平成 25 年 1 月
  - (2) 若手研究者・技術者のための軽金属基礎講習会:

平成 24 年 9 月～10 月

3. 研究部会(航空機材料部会, プレス加工部会):開催未定
4. 若手の会:軽進会                   開催時期:未定
5. 女性の会:東海支部女性の会   開催時期:未定
6. 支部協賛事業: 詳細未定

(6)関西支部

1. 支部理事会 2 回
2. 支部幹事会 2 回
3. 高橋記念賞推薦
4. 軽金属学会功労賞推薦
5. 軽金属希望の星賞推薦
6. 研究会等
  - 6-1 研究会
    - (1) 関西軽金属サマースクール
    - (2) 軽金属関西支部シンポジウム
    - (3) 関西支部 若手研究者, 院生による研究発表会
  - 6-2 出前講座(地域産業における軽金属需要喚起啓発ボランティアプログラム)
  - 6-3 大学院生フィールドワーク助成プログラム
  - 6-4 その他共催企画等
7. 維持会員の増強

(7)中国四国支部

1. 第 4 回支部講演大会の開催(広島大学)
2. 研究会の開催(2 回):中国地区で 1 回、四国地区で 1 回開催
3. 若手フォーラムの開催(1 回)
4. 支部役員会の開催(1 回)
5. 支部各賞の授与(奨励賞、優秀講演賞、研究・開発奨励賞)

(8)九州支部

1. 日本金属学会・日本鉄鋼協会・軽金属学会九州支部合同学術講演会共催  
平成 24 年 6 月 9 日、九州工業大学
2. 九州支部 第 87 回役員会  
平成 24 年 7 月、九州工業大学
3. 九州支部 第 87 回例会  
平成 24 年 7 月、九州工業大学
4. 九州支部 第 88 回役員会  
平成 25 年 2 月、九州大学西新プラザ
5. 九州支部 第 88 回例会  
平成 25 年 2 月、九州大学西新プラザ
6. 協賛事業(随時)

以上